

ダイバーシティを尊重する地域づくりを目指して

いちやり場通信

July 2023
No.87

ダイバーシティ沖縄 推進会議がスタート



日本社会の少子高齢化が顕著となって久しいですが、今後は2025年を境に「超高齢化社会」の出現が間近に迫っています。沖縄においても、その速度は他県に比べれば緩慢とはいえ、しかし確実に近づいています。こうした状況の中、いかなる在留資格であれ、外国人を単に日本で不足する労働力を補う働き手として見るのではなく「共に社会を構成する一員」として捉え、誰にとっても暮らしやすい社会の構築が求められています。

そのような背景の下、OIHFでは沖縄県における外国人材の活躍と多文化共生社会の実現に向けて、「ダイバーシティ沖縄推進会議」をこの度立ち上げました。こ

の会議は、第一線で活躍する外国人がそれぞれの立場から、社会の課題や問題点に関してテーマごとに意見を出し合い、解決の糸口を見出そうとするものです。去る5月31日(水)に第1回の会議を開催し、国籍・信条・社会的身分や性別に関わらず誰もが活躍できる社会を実現するにあたって必要なものとは何か?について話し合いが行われました。

沖縄県のダイバーシティの推進に向けて、今年度は4回程度本会議を実施し、新たな多文化共生推進指針の施策に反映できるように意見交換を行ってまいります。



公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation (OIHF)

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

HP:<https://kokusai.oihf.or.jp>

TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220

FB:<https://www.facebook.com/oihf60>

“The English and Cross-culture Webinar”

開催レポート

自分の考えを英語で論理的に発信できる人材の育成を図り、大学等に所属する研究者等と英語のみでコミュニケーションを図り、与えられたテーマについてグループでディスカッションすることで、物事を論理的に伝えるための基礎を学ぶためのウェビナーを去る6月10日(土)に開催しました。

25名の参加者は、10グループに分かれ35分×4ラウンドの流れで、各インストラクターとそれぞれが好むテーマでディスカッションを行いました。「納得できない校則の是非」「LGBTQ」「給食や掃除など日本の学校のシステムについて」等多岐に渡るトピックについて、参加者各々がパワーポイントを準備し、グループ内でプレゼンテーションを行いました。はじめは躊躇してどうしていいかわからない様子を見せながらも、次第に文法など気にしないサバイバルイングリッシュを使い始め、英語漬けの状況をなんとか乗り切っている様子でした。

次回は9月2日(土)に開催予定です。様々な国籍の外国人をはじめ、他の学校参加者と英語でコミュニケーションを図りたいかたのご参加をお待ちしています！

インストラクターの皆様も、ウェビナーに参加されていたほかの参加者の皆様もとてもやさしい方々だったおかげで、決して上手な会話ができたとはいえないながらも楽しくディスカッションできました。次の機会でもぜひ参加して、今回悔しい思いをした部分を改善しながら新たな話題でディスカッションできたらと思っています。

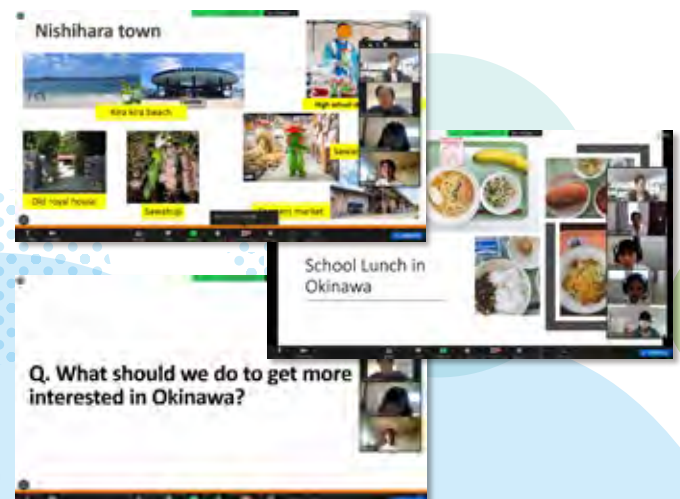
自分のプレゼンテーションは準備をしてきたので伝えることができたけど、ほかの人の発表やインストラクターさんの話とかが全然分からなくて英語を聞き取って理解する力を付けたいと思いました。また、インストラクターの方も間違いだらけな私の英語をちゃんと聞き取ってくれたり、プレゼンテーションでも何て表現したらいいかわからない時も助けてくれたりして安心してできたと、いろんなことを新しく学びました。

今回初めて参加して、4回で2時間も話すのってどんな感じだろうってずっと不安だったけど、インストラクターの人やチームメイトにどうしても伝えたいという気持ちがあれば、自分の英語力でも簡単に伝わるように考えていけばいいのだと気づくことが出来ました。楽しくてどんどん時間があつという間になっていくに自分でもビックリしました。

最初は、英語を理解できるのか、上手く話せるのか不安でとても緊張していました。しかし、ジェスチャーなどを入れながら話してみると、自分の英語力でもコミュニケーションでき、とても楽しかったです!!また、自分が用意したトピックについて新たな発見もでき、より異文化について考え、学ぶことができました。

このウェビナーで気づけたことは、みんな会話を楽しんでいて、そうやって楽しんでいる人はきっと間違いなんていちいち気にしていないということが分かった。今回の経験で、自分の外国語で誰かと話す勇気ももっとつたえたいと思う気持ちが強まったと思う。成長すればするほど、自分が少し臆病になったり、慎重に動いたりすることが増えたが、そんな時こそなにごとも興味持ち活発的だったあの頃、子供時代に戻る子供心を忘れずにいきたい。これからも、あたらしい人たちに出会い、このような場に参加していきたい。楽しく、自分の英語力を高めたいそんな有意義な時間だった。

1人で練習するのと人と話しながら練習するのでは全然違うし、とても楽しかったです。インストラクターの方々も優しく、英語で分かりやすく言い替えてくれたり教えてくれたりしてとてもためになりました。それから参加している生徒の皆さんもいい人で英語が上手だったので、私ももっと頑張ろうと思うことが出来ました。



医療通訳者 養成講座を開講



日本の医療・社会保障制度の仕組み

全5回の日程で実施する医療通訳者養成講座が6月17日(土)に開講しました。初回の講座では、OIHFスタッフが講師となり、通訳に必要な知識となる日本の医療や社会保障制度等の概説が行われました。また、2回目以降は英語と中国語の各言語に分かれ、通訳者としての倫理を学んだり、各診療科の間診票を用いてロールプレイ等を実践しました。

ロールプレイングでは、ペーパーパシエントの情報を英語から、自ら日本語の間診票を代筆し、実践的な医療通訳を練習できました。小児科の間診票を使用している際に、小児科特有の感染症を直接英語に訳すだけではなく、一般に知られている通称があれば、知識として学びたいと思いました。一人一人の患者が、それぞれ違う目的・症状で病院に掛かります。そこで求められる語学力や知識力にゴールはなく、一件ずつのケースから、わからないことを学び、ロールプレイングに関してはさまざまなケースの数をこなしていきたいと思います。

ロールプレイを通して、単語力が足りず伝えたい事を伝えられない場面が多かったため、少しでも多くの単語をインプットしていきたいと思います。また、言葉に詰まる場面でアイコンタクトが上手くできず患者役を不安にさせてしまったと思うので、次回はアイコンタクトも意識して通訳していきたいと考えています。

今日の模擬通訳演習で、患者役の相手に一つ一つ症状などを確認していく作業のときに、単語ではなく、簡単な表現の言い回しがとっさに出てこず、これが本番だったらと思い、少しパニックになりました。このようなとき、想定される質問のテンプレートを自分で準備しておくようにすれば、ある程度心の準備ができるのではないかと思います。

医療用語というのは日本語でも漢字が難しく分りにくいものも多く見られますが、それを英語で説明するのは徹夜漬けでは成し得なく、まずは出来ることから始め、徐々に範囲を広げ、出来ないところをリサーチ、また周りの人に聞きながら少しずつ解決していくことがより理解を深め、自信をつけていく、または”マイナスをプラスにしていく”事が大切なのだと思えて頂きました

24名の受講者は7月22日(土)に実施する筆記テストとの8月5日(土)の逐次通訳テストの合格を経てOIHFの医療通訳者として認定を受けます。



ロールプレイ
演習の様子①



中国語クラス
の様子



ロールプレイ
演習の様子②

英語クラス
の様子



日本語教室受講者



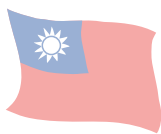
インタビュー

- ① 出身地の紹介をしてください。(文化、自然、食べ物など好きなテーマで)
質問 ② いつ日本に来ましたか。 ③ いつから日本語を勉強していますか。 ④ どうして日本語を勉強していますか。
 ⑤ OIHF での日本語の勉強はどうか。 ⑥ 数ある国・地域の中から日本で生活しようと思ったのはなぜですか。



台湾

オウ スーフアン



- 高雄は台湾第三の都市である港町です。私の故郷は日本人が設計した、歴史的建物があり、日本の家電製品が身近にありました。そのような環境だからか、小さい頃から日本に行くことが夢でした。
- 20 数年前台湾の南部高雄市から来ました。
- 私は2年前から OIHF で日本語の勉強をしています。
- 沖縄での暮らしの中や新聞やテレビを見て難しい言葉があり、日常生活だけの会話ができるだけでは足りないと感じました。
- 先生の最初の講座は、緊張しました。先生は、生徒に対して臨機応変に丁寧に教えていただきました。



インド

バクシ バルン



- カレーとナンが有名です。毎日カレーを食べます。世界遺産のタージ・マハルがあります。神様もたくさんいて、それぞれのお祈りの仕方も違います。
- 2004年
- 2004年
- 日常生活の中でスムーズに対応できるようにするため。
- ビジネス日本語なので難しいですが、とてもためになっています。
- 従兄弟がレストランのために日本に呼んだのがきっかけです。日本に勤めて長いのでそのまま日本に住みました。



中国・福建省アモイ(廈門)市

鄭潔(テイケツ|ジェン・ジェ)

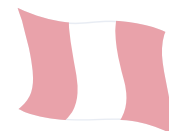


- 出身地は沖縄県と縁が深い福建省であり、那覇市と同じく、海に面しているアモイ市です。さらに那覇市と多くの共通点があり、なんとアモイ市の市木はハウオウボクで、市花もブーゲンビリアのことです。アモイは有名な観光地で、「海上ガーデン」と呼ばれています。昔から海外との貿易で盛んな港町で、今は中国五大経済特別区の一つとなり、外資系の企業が多く進出しています。かつて国際共同租界地となった離島のコロンス島には、今もヨーロッパ諸国と東南アジアの面影が色濃く残っています。2017年に世界遺産に登録され、アモイの一押し観光スポットとして、大人気です。
- 大学時代は2年間京都で留学経験があります。2023年の4月から仕事で沖縄に来ました。
- 中学校一年生の時から、日本文化に興味を持って、日本語の独習を始めました。中国の大学では日本語と日本文化を専攻し、三年生の時、交換留学生として日本で国際観光について勉強をしました。
- 今まで日本語を勉強してきたが、中国で日本語関係の仕事もいくつか経験してきましたが、今回は初めて日本で就職することになりました。一日も早くもっと日本語を上達になりたいので、久しぶりに改めて日本語授業を受けるようになります。学問はやはり果てしません。
- 先生が一方向的に教えるのではなく、生徒たちも交代にテキストを読みながら質問に答えます。また、日本語勉強の中で、一番難しいと思う聴解の部分も、毎回の授業でグループを分けて練習しています。いつも新しい知識が学ぶことができ、毎週の授業を楽しみにしています!
- 日本料理が好きだし、日本での観光と買い物も楽しいです。留学時代に日本は住みやすい国だと感じて、日本へ転職することを去年から考えました。



ペルー

早川アンドレア



- ペルーは、世界遺産である「マチュピチュ」や「ナスカの地上絵」の観光地で日本で知られていると思いますが、実はペルーは料理でも世界で絶賛されています。過去の10年間に9回も、観光業界のオスカーとも呼ばれる「ワールド・トラベル・アワード」で「世界をリードする美食の国」を受賞しています。その世界に人気にされていて、ペルーを代表する料理と言えば、「セビーチェ」です。白身魚をペルーのライムやアヒ・リモ(ペルー唐辛子)、塩、赤玉ねぎなどでマリネした料理です。ペルーの白いとうもろこしとサツマイモ、キャッサバ芋、フライドしたアンデスコーンに添えて前菜としてよく食べます。魚介類が好きでペルーレストランを訪れる機会があれば、是非食べてみてください。
- 2019年の4月に沖縄・日本に来ました。その前は、小1~小6年生の時日本にいました。
- 小1~小年生まで(1999年~2005年)。
- 国際交流員として、翻訳・通訳が主な業務であるため、日本語力を向上させたいからです。
- とても勉強になっています。ビジネス日本語を受講しているため、普段職場で役立つ内容を教わっています。また、通訳業務に役立つ聴解練習をしたり、先生の日本語を聞くことで、毎回新しい表現や言葉を身につけています。
- 小学生時代の経験と日系人4世でルーツのある日本と深い縁があるからです。



災害時外国人支援サポーター養成講座を開催



去る5月13日(土)から全5回に渡り、「災害時外国人支援サポーター養成講座」を実施し、今回は16名が新たにサポーターとして認定を受けました。第1回目となる講座では、当財団職員が講師となり、「災害時に外国人がなぜ何重にも苦境に直面するのか」や各フェーズにおける外国人支援のポイントを確認したり、サポーターに必要とされる「既視感」や「想像力」を高めることこそが島嶼県沖縄の地域力向上につながることを解説しました。

2回目以降は県内外から外部講師を招き実施しました。琉球こころのクリニックの大鶴院長による講義では「サポーター自身も被災者となりながら活動する必要があるため、一番気づきにくい自身のこころのケア」について説かれました。名古屋大学名誉教授の福和氏は、「日本史・世界史・災害史を比較した上で、日本はこれまで大きな地震や津波等の災害を幾度となく経験する度に、国家の危機に瀕するような出来事が起こっている。それを前提に国レベルで、必ず来ると言われている南海トラフ等の災害に備える必要がある」と述べました。常葉大学環境社会学部教授河本氏による講演では「正常性バイアスと同調性バイアスは災害時において人命に関わるため、自身の行動に照らし合わせて認識し判断する必要がある」と話されました。

その他、演習として「災害時に役立つやさしい日本語」や「HUG(避難所運営ゲーム)机上訓練」を実施しました。全体を通して、参加者から次の感想が寄せられています。今後は、石垣市や宮古島市でも同様の講座を実施し、引き続き島嶼県沖縄の地域防災力の向上に努めて参ります。

福和先生の講義では、歴史上の出来事と災害の関係や、大地震への備えができていないことなど、知らないことばかりで、このまま巨大地震が発生してしまった場合に大変な事態になることが理解できました。ささやかですが、まずは自宅の防災対策だけでもしっかりやりたいと思います。

歴史的に災害を見ていくと日本は災害大国だとあらためて感じた。巨大地震は必ず起こるので平時からの準備が必要であると強く感じた。

やさしい日本語とは、「簡単な言葉に言い換えればよい」と思っていたのですが、情報をわかりやすく伝えるためには、文章を再構築するような作業が必要で、なかなか難しかったです。外国人に限らず、緊急時などに相手に正確に情報を伝えるために有効な手段だと思いましたので、日頃から意識してみたいと思います。



名古屋大学名誉教授福和氏による講演



琉球こころのクリニック院長大鶴氏による講演



常葉大学社会環境学部河本氏による講演



やさしい日本語演習に取り組む受講者

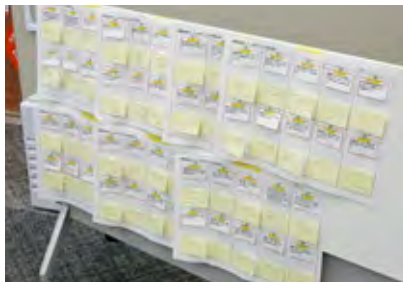
「やさしい日本語」と一口に言っても、重要な情報を見極め、難しい単語や表現を取り除いたり、言い換えたりするなど「やさしい日本語」になるまでの工程が多いことに驚いた。その中でも、重要な情報は繰り返すという行動は、いつ・誰が聞いたり、見たりしても、伝え手の意図がわかりやすく、有効的だと感じた。

やさしい日本語の講義、わかりやすい言葉に変換する作業を真剣に取り組んだ時間は、とても貴重でした。自分の中でこれが優しいかなという言葉の選択でも、外国人の方に伝わらなければ、意味がないので、変換する思考を身につけながら、外国人の方の立場も考える思考が大切ではないかと感じました。

HUG運営ゲームでは、次々に新しい情報や避難者が押し寄せてきて、適切な対応ができなかった場面が何度もあり、想像していた以上に混乱したが、実際にこの混乱を体験でき、改善すべき点もいくつか見つけたり貴重な経験になりました。様々な場面で対応が難しいと感じたことがあったが、その中でも新規で利用可能になった教室の使い道やケアが必要な人(身障者、高齢者、外国人、アレルギーを持つ方など)の対応が難しかったです。避難者リストは作成していたが、それだけではケアが必要な人が誰でどういうケアが必要なのか分からないため、避難者リストとは別にケアが必要な人のリストを作成する必要があったと感じました。



HUG(避難所運営ゲーム)机上訓練①



HUG(避難所運営ゲーム)机上訓練②

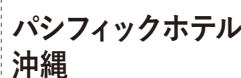
HUG(避難所運営ゲーム)机上訓練は、これまでの講座で得た知識を見返し、アウトプットする良い機会でした。避難者カードやイベントカードに対し、いかにベストな結果に持っていかうかということはグループワークを大して簡単では無いことを実感しました。現場の把握や情報のずれ、またどこに重点を置かうかは各それぞれ違うし、一つのことに正しい答えを追求しようとするれば他の問題が置き去りになってしまいます。この貴重な時間を通して感じたことは、自分の意見をはっきり言う、相手の考えを尊重する、分からなければホールド、他者からアドバイスを仰ぐなどの基礎的なルールを通して皆で問題に取り組む→チームワーク、コミュニケーションがより良い答えに導いてくれるのではと思いました

避難所運営ゲームに参加して途中から考えるのに疲れてしまったが、本番ではこんなものでは無い。実際あとから次々と避難してくる人や物資確保の対応など、運用をかけてたら途中止める事はできないだろうから、それなりの覚悟が必要。又一緒に動く仲間を早い段階で見つけておく事も重要だと感じた。

熊本地震の際に、避難所運営1週間程携わった経験があった為、その経験を活かして臨もうと思っていました。しかし、避難所運営訓練が始まると、一気にやらなければならないタスクが出てきて、混乱状態となりました。この避難所にどのくらいの避難者がいるのか、把握するのが重要なことと思い、避難者名簿の作成をしたのですが、それが正解か間違いかは、時間をかけて振り返ってみたいと思います。

座学だけでなく最後に総仕上げとしてHUGゲームを体験できたことは良かったです。焦りがあると学んだことがすぐに出てこなかったりしましたが、それでもところどころ意識して対応できたところもあり、講座を受ける前と比較すると災害への対応力が向上したと感じました。今後、大規模災害が起らないことを祈りますが、万一起こった時はこの講座で学んだことを活かしたいと思います。

OIHF法人賛助会員様



**国際理解・国際協力のための
高校生の主張
コンクール
弁士募集**

沖縄県地方大会

目的 国際連合に関する高校生の主張を通して、国際理解・国際協力について考える

テーマ いずれか1つを選択

- 1 本年はSDGsの中間年。あなたが、ユースリーダーとしてSDGs達成に向けた若者の取組を提案するとして、どのような提案をするか。
- 2 次期国連総会において、あなたが一般討論演説を発表するとして。
- 3 今年、加盟国最多の12回目の安保理非常任理事国となった日本は、どのような取組を行うことで、世界の平和と安全に貢献するか。

日時 2023年 9月17日(日) 13:30~16:00

会場 P's Square (浦添市西原2丁目4番1号)
※観覧できる人数に限りがあります。

応募方法 HPをチェック!
<https://kokusai.oihf.or.jp/>

主催：(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団(OIHF)
TEL | 098-942-9215 E-mail | kokusai@oihf.or.jp
HP | <https://kokusai.oihf.or.jp/>

**国際理解・国際協力のための
中学生作文コンテスト
作品募集**

沖縄県予選

目的 国際連合についての作文を通して、国際理解・国際協力について考える

テーマ いずれか1つを選択

- 1 本年はSDGsの中間年。2030年までに17の国際目標からなるSDGsを全て達成するために、自分ができることは何か。
- 2 後継のない世界に向けて国際社会ができることは何か。
- 3 今年、加盟国最多の12回目の安保理非常任理事国となった日本は、どのような取組をおこなうことで、世界の平和と安全に貢献するか。

応募締切 2023年 9月4日(月) 16時必着

応募方法 HPをぜひチェック!
<https://kokusai.oihf.or.jp/>

主催：(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団(OIHF)
TEL | 098-942-9215 E-mail | kokusai@oihf.or.jp HP | <https://kokusai.oihf.or.jp/>

「国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール沖縄県地方大会」弁士募集

募集期間 ~ 2023年8月31日(水)16時まで
実施日時 2023年9月17日(日) 13:30~16:00
場所 P's Square(浦添市西原2丁目4番1号)
参加方法 オンラインフォームからお申込みください。

「国際理解・国際協力のための全国中学生作文コンテスト沖縄県予選」作品募集

募集期間 ~ 2023年9月4日(月)16時まで
応募方法 OIHFホームページ(<https://kokusai.oihf.or.jp/>)内にある所定のオンラインフォームに必要事項を入力し、PDF形式の原稿をアップロードの上、応募してください。

**日本語を
べんぎょうしませんか?
Let's study Japanese!!**

These Japanese classes are free of charge!
(Please apply early!)

- 1 ビジネス日本語 I
Business Japanese I
※申込期間: 2023年8月17日(水)~2023年9月1日(金)
※開講期間: 2023年9月1日(金)~2023年9月15日(金)
※開講時間: 19:00~20:00(2回)
※会場: P's Square (浦添市西原2丁目4番1号)
※定員: 10名(先着順)
※費用: 無料(テキスト代金を含む)
- 2 ビジネス日本語 II
Business Japanese II
※申込期間: 2023年8月17日(水)~2023年9月1日(金)
※開講期間: 2023年9月15日(金)~2023年9月29日(金)
※開講時間: 19:00~20:00(2回)
※会場: P's Square (浦添市西原2丁目4番1号)
※定員: 10名(先着順)
※費用: 無料(テキスト代金を含む)
- 3 日本語基礎対面クラス
Basic Japanese Face-to-face Class
※申込期間: 2023年8月17日(水)~2023年9月1日(金)
※開講期間: 2023年9月1日(金)~2023年9月15日(金)
※開講時間: 19:00~20:00(2回)
※会場: P's Square (浦添市西原2丁目4番1号)
※定員: 10名(先着順)
※費用: 無料(テキスト代金を含む)
- 4 個別オンラインクラス
Individual online class
※申込期間: 2023年8月17日(水)~2023年9月1日(金)
※開講期間: 2023年9月1日(金)~2023年9月15日(金)
※開講時間: 19:00~20:00(2回)
※会場: オンライン(Zoom)
※定員: 1名(先着順)
※費用: 無料(テキスト代金を含む)

お問い合わせ Contact
(公財)沖縄県国際交流・人材育成財団(OIHF)国際交流課
TEL | 098-942-9215 / E-mail | kokusai@oihf.or.jp

受講料
無料

「第2回 日本語学習サポーター育成ウェビナー」を開催します

対象者 県内に在住する方で、地域日本語教育支援に関心のある方
実施日時/方法 10月7日(土)9:30~11:30 / Zoom
受講 無料
申込期間 8月28日(月)~9月29日(金)16時締切
参加方法 申込フォームよりお申込みください。

「The Second Annual English Presentation Contest」の弁士を募集します

THE 2ND ANNUAL ENGLISH PRESENTATION CONTEST

2023.10.28 (SAT) 13:30-16:00 (GMT+9) (with a hostess)

APPLICATION DEADLINE 2023.9.30 (SAT)

FOR MORE DETAILS, VISIT THE OIHF WEBSITE!

OKAWA International Exchange and Human Resources Development Foundation (OIHF)

実施日時 2023年10月28日(土) 13:00~16:00
場所 沖縄科学技術大学院大学(OIST) (恩納村谷茶1919-1)

応募締切 2023年9月30日(土)
応募方法 詳細につきましてはHPでご確認下さい。

「OIHFで日本語をべんぎょうしませんか?」

クラスの詳細

- (1) 日本語基礎対面クラス
- (2) 個別オンラインクラス
- (3) ビジネス日本語I オンラインクラス
- (4) ビジネス日本語II オンラインクラス

OIHF 日本語教室

ビジネス日本語

今年で3年目となるOIHFビジネス日本語クラスを4月よりZoomで開講しています。クラスでは、在住外国人の皆さんが日本企業で働くことを想定し、入社時の自己紹介や電話対応、また、よく使われる尊敬語・謙讓語・丁寧語などを学びます。

参加は無料ですが、OIHFが用意するオンラインプレイメントテスト(日本語能力試験N2レベル)に合格する必要があります。

ビジネス日本語 I

職場でのビジネスコミュニケーション

ビジネス日本語 II

職場でのビジネスライティング

日本語基礎対面クラス

対面教室は、金曜日の19時から21時までの2時間、OIHFがある宜野湾市伊佐で実施しています。今年で20年目です。参加者の国籍やライフステージ、日本語のレベルは様々です。ひとつの場所に、目的を持って集まり、互いに刺激し合ってモチベーションを高めています。

定員に限りがあります。参加ご希望の方はお早めにお問い合わせください。



個別オンラインクラス

今年で3年目となる個別オンラインクラスは、日本語教師の資格を持つサポーターさんによる1回40分のクラスです。予約専用サイトから、サポーターさんを選択して、学習したい日時と内容をリクエストします。クラスの予約数は右肩上がりです。令和5年6月には136件の予約がありました。

クラスの予約の上限は、月に4回ですが、40分の積み重ねは大きなものです。継続は力なり! OIHFで日本語を勉強しませんか?



日本語学習を**サポート**していただける方を**募集**しています。

詳細はこちらから! <https://kokusai.oihf.or.jp/project/yomikaki/>

oihf日本語教室

検索

OIHFでは**在住外国人**のための**相談窓口**を開設しています!

在留資格や労働問題、離婚、相続など幅広い相談に対応しています。相談は無料です。

OIHFでは、相談者の問題を解決できるよう、相談者の氏名や在留資格などの個人情報をはじめ、時にはプライベートな細かいことまで質問しなければならないと考えています。しかし、相談者の中には、細かい情報を教えたくないという方がいることも理解しています。「OIHFに詳しい情報を教えると、自分が不利になるのではないか。」「自分の身元が相手方に判明してしまうのではないか。」と心配する方がいますが、OIHFは守秘義務を守りますので、安心してください。

問題が大きくなるうちに、OIHFに相談してください。



相談受付日時: 平日 9:00 ~ 16:00

相談受付フォーム (多言語対応): <https://kokusai.oihf.or.jp/project/soudan/>

OIHF 外国人相談窓口



スペイン語

ネパール語

ベトナム語

インドネシア語

日本語・英語

中文簡語

中文繁體

韓国語